

報道関係者各位

2017年5月18日
株式会社ワークスアプリケーションズ

戸田建設、持続的成長目指し統合利益管理システムを刷新 人工知能型 ERP「HUE®」で、生産性 No.1 ゼネコンを目指す

“喜び”を実現する企業グループ



株式会社ワークスアプリケーションズ（本社：東京都港区、代表取締役最高経営責任者：牧野正幸、以下 ワークス）は、戸田建設株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：今井雅則、以下 戸田建設）より、同社の次期統合利益管理システム¹として「HUE®」を受注いたしましたのでお知らせいたします。

- ✓ 生産性向上を実現するための「枠組み」構築の手段として「HUE®」を採用
- ✓ 建築／土木原価管理・工事会計・財務会計をワンパッケージで実現
- ✓ 機械学習機能を活用した入力業務負荷の大幅な削減

●検討の背景：持続的成長を支えるシステムの再構築が急務

人件費や資材の高騰により、業界全体で生産性の向上が重要な課題とされる中、「持続的成長」を目指す戸田建設では、効率的な業務執行を実現し、強固な体制を確立するための施策として、新たな統合利益管理システムの構築を急務としていました。

●検討の目的：生産性向上のための新たな「枠組み」の構築を目指す

戸田建設では、今後 10 年の戸田建設を支える以下 3 つの「枠組み」の構築を目指しています。

① 人と組織の変化に対応できる枠組み

建設業における複雑かつ大量の業務パターンを汎用化し、標準機能として実装した「HUE®」を採用することでアドオン開発を不要とし、繰り返される機能追加などによるシステムの複雑化やブラックボックス化、属人化を防ぎ、企業の持続的成長に合わせた人や組織の変化への柔軟な対応を可能にする。

② 根拠ある予測により、目標が見えてくる枠組み

これまで表計算ソフトでばらばらに作成してきた受注や売上・損益の予測情報などをシステム化することで、リードタイムの短縮化、情報の一元化、業務の効率化を実現する。

③ 生産性を向上させ、人と時間を創出できる枠組み

クラウド上での分散処理により実現する、機械学習技術を活用したサジェスト機能や自動作表機能、OCR 技術による文字情報の解析や自動マッピングなどにより、請求書などの入力作業や単純作業、PC 操作を極限まで削減し、大幅な業務生産性の向上と工数削減を実現する。

¹ 戸田建設が新たに構築する、財務会計システム・原価管理システム・工事会計システムの総称

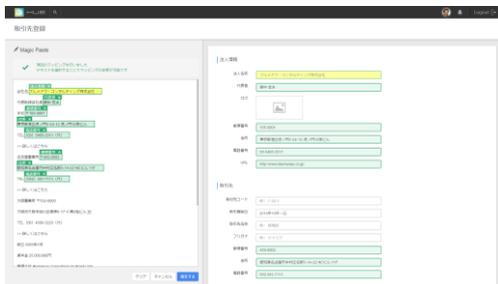
● 「HUE®」 採用のポイント：

① 建築／土木原価管理・工事会計・財務会計をワンパッケージで提供する唯一の製品



「HUE®」採用においては、建築／土木原価管理・工事会計・財務会計といった、建設業における統合利益管理に必要とされる機能をすべて標準機能として、かつワンパッケージで提供可能な点が高く評価されました。建設業ではJV（ジョイントベンチャー）管理や工事進行基準、損益管理など建設業特有の要件が多く、またマーケットが限定的であることなどからパッケージ化の難易度が高く、大手ゼネコンにおけるシステム構築はスクラッチ開発・アドオン開発が前提となっていました。「HUE®」では、約80社の建設業企業への導入実績をもとに建設業における業務要件を汎用化し、標準機能として搭載しています。これらをワンパッケージで提供することで、より効率的な情報一元化、リアルタイムでの情報収集が可能となります。

② 「HUE®」の機械学習機能などによる入力業務負荷の大幅な削減



「HUE®」では、機械学習などのAI技術のアシストによってユーザーの入力業務負荷を大幅に削減します。たとえば、請求書などのPDFデータの文字情報を解析し、適切な項目に自動入力します。入力先に誤りがあった際も、修正した内容を「HUE®」が自動で学習するため、使うたびにマッチング率が向上していきます。また、取引先からの見積書など、複数のフォーマットの異なるデータの一括読み込み等も可能です。

● 今後の展望：生産性 No.1 ゼネコン目指す

また、今回の統合利益管理システムへの「HUE®」採用にあたり、選定を行った価値創造推進室 ICT 戦略ユニット マネージャー 佐藤康樹氏は、今後の展望について以下のようにコメントしています。

“今回の選定は、今までほとんどパッケージを使ってこなかった弊社にとって、大きなチャレンジとなります。また、AIを使ってどのようなことができるようになるか、わくわくする部分もたくさんあります。「HUE®」のインターフェースはユーザーが日常的にAmazonやGoogleなどのコンシューマアプリで触れているような分かりやすいものなので、ユーザーの皆さんに「良くなったね」と言ってもらえるものになると確信しています。「HUE®」は当社の目指す「持続的成長」そして「生産性 No.1 ゼネコン」の基盤となってくれと期待しています。”

ワークスは同社の持続的成長を支援するとともに、建設業界の生産性向上に努めてまいります。

●戸田建設株式会社について

商号	戸田建設株式会社
創業	1881年1月5日
設立	1936年7月10日
代表者	代表取締役社長 今井 雅則
資本金	230億円（2016年3月31日現在）
所在地	東京都中央区京橋一丁目7番1号
事業内容	1. 建築一式工事、土木一式工事等に関する調査、企画、設計、管理、施工その他総合的エンジニアリングおよびコンサルティング業務 2. 地域開発、都市開発等に関する調査、企画、設計、管理、施工その他総合的エンジニアリングおよびコンサルティング業務 3. 不動産の売買、賃貸、仲介、管理および鑑定
売上高	463,476百万円（2016年3月単体決算）
従業員数	3,823人（2016年3月31日現在）

●ワークスアプリケーションズについて

商号	株式会社ワークスアプリケーションズ
設立	1996年7月
代表者	代表取締役最高経営責任者 牧野 正幸 代表取締役最高執行責任者 阿部 孝司 代表取締役最高技術責任者 石川 芳郎
資本金	3,626,506千円
所在地	東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 19階
事業内容	大手企業向け ERP パッケージシステム「HUE®」および「COMPANY®」の開発・販売・サポート
売上高	40,786百万円（連結）※2016年6月末時点
従業員数	5,631名（連結）※2016年6月末時点